

第30回 コーニング市友好訪問団報告書

2025.8.5～12 【6泊8日】



NPO
法人掛川国際交流センター
Kakegawa International Center

2025. 6. 26

掛川市役所 4 階会議室にてコーニング市友好訪問団任命結団式



結団式で佐藤教育長から激励を！



掛川国際交流センター理事長より任命書の授与

2025. 7. 5

掛川市中央図書館会議室にて第 1 回勉強会



コーニングより来訪中の訪問団と交流勉強会。はじましてから
スタート！！お互いを知り、コーニングでの再会を約束しました。

訪問団のゾーイさんよりコーニングの生活についてプレゼン発表



2025. 7. 19

掛川市生涯学習センター会議室にて第2回勉強会

コーニングジャパン静岡事業所からコーニング社についてのレクチャーを、英語講師のカルロス先生のサポートなど、多くの方々にご協力いただきました。



2025. 8. 5:1日目

掛川駅にて出発式！！大角理事長より激励を…





2025. 8. 5

13時間の飛行機移動はドキドキ…

デトロイト空港でアメリカ入国後、エルマイラ空港でホストファミリーと対面

2025. 8. 6: 2日目

2024年に掛川へ来訪したクリス先生の案内で

コーニング・ペインティッドポスト高校見学



スクールマスコット「Hawks」(鷹)



教頭先生にご挨拶！！

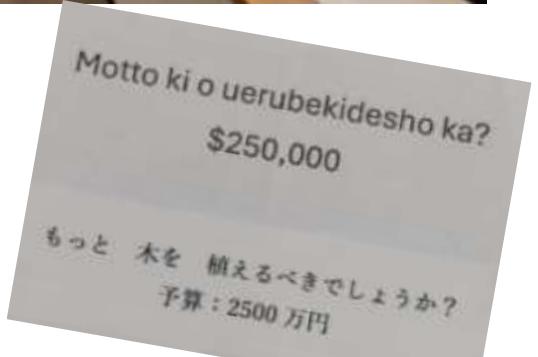
2025. 8. 6

コーニング・ガラス・ミュージアムで、体験と見学



2025. 8. 7: 3日目

市役所にて市長表敬訪問。ボーランド市長と交流。
議場で「模擬市議会」を体験させていただきました。



↑模擬市議会の「議題」です。
街路樹について話し合いました。

2025. 8. 7

市役所と隣接する図書館前のピース・ガーデンには、平和への願いが込められた碑があります。姉妹都市交流が世界平和の第一歩となりますよう…



↑記念のコーニング
市章ピンバッジを
いただきました

ボーランド市長からいただいた言葉

80年前の今日、広島に原爆が投下され、多くの命が失われ、たくさんの人たちが深く傷つきました。このピースガーデンでこの日を迎えられたことを忘れずに、改めて平和の大切さについて考える機会にしたいと思います。

今回の姉妹都市交流を通じて、お互いの文化を知ることができ、たとえ違いがあっても、みんな同じ人間なんだということを実感できたのではないでしょうか。そうした気づきは、とても大切なものです。

市長という仕事は、あまり目立つものではありませんが、市民の皆さんのために働く地道なパブリックサービスです。でも、とてもやりがいのある仕事でもあります。みなさんがこれから進路を考えるとき、「人の役に立つ仕事」や「地味だけど社会を支える仕事」も、ぜひ選択肢のひとつとして考えてもらえたならうれしいです。

2025. 8. 7
マーケット・ストリート&ファーマーズマーケット散策



←町のシンボル、クロックタワー前で集合写真

2025. 8. 8 : 4日目
ナイアガラの滝観光。アメリカ側とカナダ側があることを覚えました



↑「Maid of the Mist (霧の乙女号)
に乗って滝つぼの近くへ！！
びしょ濡れになるのも楽しい体験



2025. 8. 9: 5日目

↓ Ferenbaugh Campground (フェレンバウフ・キャンプ場) で持ち寄りピクニックパーティー。サンキュー・スピーチでホストファミリーへ感謝の気持ちを・・・



↑暑い日、プールが気持ちよかったです！

2025. 8. 10: 6日目

それぞれのホストファミリーと一日ゆっくり過ごしました。

2025. 8. 11, 12: 7, 8日目

乗り換えのデトロイト空港にて・・・

早朝、エルマイラ空港を出発→デトロイト空港→羽田空港
さまざまな遅延で深夜の帰宅となりました



7月に掛川に来訪した訪問団メンバーのジャニスさんからのメッセージ。コーニング滞在中いつもサポートしてくれました。→



←8月6日(水)静岡新聞に出発式の様子が掲載されました。

The LEADER

[Subscribe](#) [Sign In](#) [Crossword](#)

LOCAL

Sister Cities students from Kakegawa, Japan, are visiting Corning: First impressions



Jeff Smith
Corning Leader

Aug. 8, 2015, 11:54 a.m. ET



[Show video info](#) ▾

A delegation of eight students from Kakegawa, Japan and two chaperones arrived in Corning Aug. 5 and have already enjoyed visiting several places in the Crystal City.

The trip is part of the Sister Cities program as Corning and Kakegawa students and officials have traded international visits.

The Japanese delegation visited Corning-Painted Post High School and the Corning Museum of Glass Wednesday and visited Corning City Hall Thursday morning.

Kakegawa students Shiki Homma and Moa Hirnuka each said they enjoyed visiting The Studio and the Corning Museum of Glass, as well as the C-PP High School.



Kakegawa delegates Chiyuki Yamashita, Akiko Miyazaki, Kotsu Yamaguchi, Kanada Yasui, Kumomi Makino, Miyo Araki, Shiki Homma, Moa Hirnuka, Kaho Tanabe and Hiroyo Matsuda and Corning Mayor Bill Boland posed for a picture Thursday morning at Corning City Hall. Jeff Smith

"We also got ice cream at Peaches 'N Cream," the students said through an interpreter.

"The ice cream is much bigger here than they are at home."

Corning Mayor Bill Boland said the Sister Cities have created a great relationship over the past 30 years.

"I told the students, this is a wonderful opportunity to experience another culture, and to realize that each of us are the same," said Boland, who traveled to Kakegawa earlier this year.



Kakegawa Corning Sister Cities delegation enjoyed their time Wednesday afternoon at the Corning Museum of Glass. Jeff Smith

Janice Van Gorden, a recent C-PP graduate, was one of four Corning Sister Cities students who traveled to Kakegawa last month.

"I loved my trip," Van Gorden said. "Honestly getting to meet everyone was the best part for me."



Corning Mayor Bill Boland talked to the Kakegawa Corning Sister Cities students Thursday about Corning City government. Jeff Smith

The Kakegawa delegation will visit more several places throughout the Corning area before catching a flight back home Monday morning at the Elmira-Corning Regional Airport.

The Sister Cities Association of Corning has delegations in Kakegawa, Japan, San Giovanni Valdarno, Italy, and Lviv, Ukraine.

←

コーニングのローカル新聞「The LEADER」8月8日(木)web版に掛川からの訪問団の様子が掲載されました

私の挑戦と成長

文化の発見

アメリカの高校を見学して私が一番驚いたことは、制服がないことです。日本ではほとんどの学校に制服があるので、その自由さに驚きました。

今回、アメリカに行くことで文化の違いに直接ふれることができました。驚くこともありましたが、それを否定するのではなく受け入れることが大切だということに気付きました。私はこれからたくさんの人と出会っていくと思います。まずは否定するのではなく、受け入れることを大切にしていきたいです。

中学2年・女子



気持ちを伝える大切さ

ホストシスターのジニーとベスが誘ってくれてみんなでジェンガをしました。少しでも揺れると怖がったり、指をさして場所を教えてくれたりして、みんなで楽しむことができました。

今回が初めての海外、ホームステイで私は不安でいっぱいでした。しかし、ホストファミリーがゆっくり話してくれたり、伝わらないときには実物を見せてくれたりしました。私がその時感じたのは、1人で不安になって話さないのではなく、どんな方法でも伝ええてみようという気持ちが大切だということです。これからは、自分の気持ちや相手の気持ちを考えながら人と積極的に関わり、いろいろなことにチャレンジしていきたいと思います。

小さな町で大きな学び

高校一年 男子

このたび、8月5日から8月12日までの1週間、アメリカ合衆国ニューヨーク州コーニング市にてホームステイを体験させていただきました。本報告書では、滞在中の新たな気づき、ホストファミリーとの交流、現地での活動についてまとめます。

初めて訪れるアメリカで、地に足を着いた瞬間から日本とは異なる空気を感じました。道路を走る大きなアメリカントラック、流暢に流れる英語のアナウンス、少し肌寒い気温、何もかもが異なりました。初めて訪れる国、言葉の壁、そして自分の英語が通じるのかといった不安や緊張と、異文化に触れられることへの喜びや期待の入り混ざった気持ちでした。

私がお世話になったお宅はギャレットさんとゾーイさん夫婦です。ホストファミリーはとても温かく私たちを迎えてくれ、私の浅薄な英語にも辛抱強く耳を傾けてくれました。ホストファミリーとの会話を通して、日常生活の表現やアメリカ特有の言い回しを学び、教科書を読んでいるだけでは学ぶことの出来なかった生きた英語に触れることができました。



ホームステイ中に、ホストファミリーと一緒にショッピングモールに出かける機会がありました。洋服やアメリカのお土産を買うのが目的でしたが、実際の買い物を通して、アメリカの買い物文化や人々の接し方について多くの気づきがありました。ホストファミリーは店員の人達と初対面なはずなのにもかかわらず、フレンドリーに会話をしている場面がありました。会話にはユーモアが溢れており、このような開放的な人間関係がお店の雰囲気を明るくし、人と人の繋がりを広める場であると学びました。

私はホストファミリーと交流の一環として、日本の伝統文化のひとつである、折り紙を紹介しました。言語が異なるため、折り方を教えることに少しつまずきましたが、最終的には鶴を折ることができました。鶴が完成した時、ホストファミリーがとても感動してくれ、その感動した表情に私は歓喜しました。

ギャレットさんとゾーイさんがいてくれたことにより、私はアメリカでの生活を謳歌することができました。彼らと過ごした時間は私の一生の宝物であり、感謝の気持ちでいっぱいです。

コーニング市友好訪問団に携わってくださった方々、この企画に参加させてくれた家族、困った時に常に寄り添ってくれた引率のちゆきさんと明子さん、ありがとうございました。皆様の協力により私はすばらしい経験をすることができました。



そして、1番感謝の気持ちを伝えたいのはコーニング市友好訪問団の仲間です。みんなのおかげで私はコーニング市という素敵な場所ですばらしい思い出を作ることができました。本当にありがとうございました。

第30回コーニング市友好訪問団 帰国報告書

高校3年 女子

私は、8月5日から8月12日の間掛川市のアメリカ姉妹都市である"コーニング市"に訪問しホームステイを体験しました。その中で、ホストファミリーであるジョセフィンの家族をはじめ以前掛川市に訪問してきてくれた方々、現地で交流してくれた方々全員が私たちを温かく迎え入れてくれたことがとても印象に残っています。

ホームステイ先では、最初英語でうまく話すことに自信がなく、会話に入る事が難しかったです。しかし、ホストファミリーがゆっくり話してくれたり、簡単な英語で説明してくれたりしたことで、時間が経つにつれて少しづつ会話に入れるようになりました。会話に入れるようになってからは、一緒に夜ご飯を作ったり、ゲームをしたりする時間がより一層楽しく感じました。また、現地での活動中も常に英語で会話をを行うことで、英語への抵抗感がなくなったように感じました。現地での活動を通して、日本とアメリカの違いを感じる場面も多くありました。例えば、アメリカでは主食が小麦製品であることが多く、ホストファザーが私たちにお米を食べさせてくれたときは、いつもよりお米が美味しく感じました。ホームステイ中は、小さな会話や日常のやり取りの中で、少しづつ自分の英語での表現に自信が持てるようになったことが良い経験になりました。

現地での生活やホストファミリーとの関わり、日常のやり取りを通して、英語での会話や異文化交流の楽しさだけでなく、文化を理解することの大切さを学びました。この経験で得た学びを活かし、大学進学後も積極的に国際交流に参加して、さまざまな価値観や文化に触れながら視野を広げたいと考えています。そして将来的には、自分が国際交流の機会を提供する側となり、異文化を体験する喜びを多くの人に届けられるようになりたいです。

